



国労東京支部

2024年10月16日

第64号

国鉄労働組合東京支部機関紙

発行責任者 松田 恭明

編集責任者 佐藤 賢一

大井工場アスベスト裁判 12・18判決へ

アスベスト裁判の第2回口頭弁論が9月25日、東京高裁で開かれた。原告側が事前に提出していた被控訴人準備書面について、原告、被告共に新たな書面提出、立証はしないとの判断を受け、裁判長は「弁論は終結する」と告げた。判決は12月18日、13時30分から言い渡される。

裁判長は、和解について双方の考え方を聞き、原告は「協議には応ずる」、被告は「協議は可能」と表明したので、裁判終了後に双方の代理人らが集まるように述べた。その後、裁判官が双方の代理人と交互に面談し、お互いの基本的な和解条件を確認した。裁判所は、10月17日に第2回和解協議を行うので、それまでの間、検討して状況を報告するよう指示をした。

今回は約70人の支援者が駆けつけ、ロビーを埋め尽くした。これから和解協議も始まるが、判決を前にして予断は許さない。

12月18日の判決日には、より多くの仲間が結集して、勝利判決を勝ち取ろう！



さようなら原発全国集会が開催される

9月16日、代々木公園にて「さようなら原発全国集会」が開催された。「命をつなぐ地球環境を」をテーマに、脱原発や気候危機の問題に関心を寄せる労働組合や生活協同組合、市民ら約5000人が結集した。ステージでは、各地の原発の再稼働の動きや核燃料サイクルの問題、地元漁民らの意向をないがしろにして海洋放出を続けるALPS処理水（放射能汚染水）の課題などの報告や訴えがあった。集会後、渋谷コースと原宿コースの二手に分かれてデモ行進をし、街ゆく人たちに「原発再稼働反対」「原発は気候危機の解決にならない」と訴えかけた。



加藤女性部長お疲れさまでした

東京支部発足時から支部女性部長を担っていただいた加藤さんが、5月でエルダーを終えました。お恥ずかしい話ですが、昨年の大会のニュースに加藤女性部長の名前を掲載するのを失念してしまいました。さらにお恥ずかしい話は、今回女性部から「加藤さんの送別会を開催する」と聞き、支部役員が便乗するような形になってしまったこと、この紙面を借りてお詫び申し上げます。重ね重ね失礼をしてしまい、本当に申し訳ありませんでした。

と言うわけで10月13日の夜、新橋の居酒屋「恭恭」で女性部主催の送別会を開催しました。翌14日に女性部定期委員会を控えていたこともあり、西は四国・大阪、東は秋田から女性部の仲間、また、会場手配をしてくれた東日本本部書記の沓澤さん、青年部から工藤中央常任委員、東京支部から3人が参加して盛大な送別会を開催してきました。



第10回女性部定期委員会に参加して

報告 佐藤 賢一

冒頭、谷澤女性部長は、「女性目線からのさまざまな問題を訴えながら国労運動にかかわっていきたいと思います。8月に母が亡くなりましたが、母が病床で言っていたのは、健康に気をつけなさいということでした。長く活動し続けるために健康に留意し、頑張っていきましょう」とあいさつしました。続いて全体討論がされましたので、その一部を紹介します。

- ・全国に9人いる女性部の仲間とどのようにつながっていくのか、また、青年部と一緒に活動も模索してみてもどうか。
- ・女性だからできること、また、女性しかできないことをいろいろ追求しながら活動していきたい。
- ・青年部も女性部と若いうちから交流していった方が女性の気持ちもわかるのではないかな。
- ・青年部も仲間を集めるための努力をしている。ただ日程を送るだけのラインだと、会議に来いみたいになってしまうので、最近何か変わったことあった？のように日常会話的なラインも送っている。

- ・女性部もグループラインをつくって、近況報告などしあったらどうか？
- ・年に一度全員で集まって、泊まり込みで会議などしてみても？

女性部・青年部共に人数は少ないながらも仲間を集めるための努力をしていることが伝わってきました。親組合としても引き続きかわりを持ちながら、運動の前進に向けて協力していきたいと思います。



